

第2回

「全国木のまち」サミット

2016 in Hayakawa town

“木を使う”ことで培われてきた文化や地域連携を鑑み、山林・森林の上流と下流の相互関係に関わる複数組織の連携から生まれる技術・経済・文化の発展を考察します。木材利用の取り組みや事例から持続可能な林業振興のヒントを探ります。

山梨県
Yamanashi pref.

早川町
Hayakawa town

日程

2016年9月3日(土) — 4日(日)

会場

山梨県南巨摩郡早川町 早川町役場

主催

全国木のまちサミット実行委員会

委員長：辻 一幸(山梨県早川町長)、副委員長：岡部政幸(山梨県丹波山村長)、(事務局：山梨県早川町・公益財団法人オイスカ)

共催

やまなし水源地ブランド推進協議会(早川町、丹波山村、NPO木netやまなし、NPO道志・森づくりネットワーク、シナプティック株式会社、株式会社イトーキ、株式会社佐野建築研究所)、早川町森林組合

後援

林野庁・山梨県・公益社団法人国土緑地化推進機構、公益財団法人山梨県緑化推進機構、一般社団法人山梨県森林協会、一般社団法人山梨県治山林道協会、NHK甲府放送局、山梨日日新聞社、株式会社山梨放送、株式会社テレビ山梨

協賛

(呼びかけ人)

北海道網走郡津別町、北海道上川郡下川町、岩手県気仙郡住田町、秋田県能代市、埼玉県比企郡ときわ町、東京都板橋区、東京都品川区、東京都港区、東京都西多摩郡檜原村、神奈川県小田原市、愛知県豊田市、岐阜県加茂郡白川町、岐阜県加茂郡東白川村、静岡県浜松市、山梨県北部留郡丹波山村、岡山県英田郡西粟倉村、高知県高岡郡中土佐町、大分県中津市、大分県日田市、富士大学学長、法政大学デザイン工学部、木と建築で創造する共生社会実践研究会(A-WASS)、株式会社計画工房(平成28年6月20日現在)

第2回
「全国木のまち」サミット
2016 in Hayakawa town



充 実しつつあるわが国の森林資源、とりわけ木材(地域材)を有効に活用することは、森林の有する多面的機能の持続的な発揮はもとより、山村等の基幹産業である林業・木材産業の成長産業化、さらには、都市住民を含む国民の潤いのある生活の実現を図る上で喫緊の課題となっています。このような中、地方自治体など地域関係者の主導により、創意工夫をこらしながら、公共建築物の木造化や内装の木質化をはじめとする木材利用に積極的に取り組む事例が広がりを見せ

ています。こうした機運があるものの現状は決してスムーズに進んでいるとは言えません。そこには法律の壁や、山側の事情等、様々な課題が山積しているからです。

本サミットは、木材利用に取り組もうとしている全国の市町村等の関係者等が一堂に会し、早川町の役場新築の一連の取り組みを事例に、地域材促進のための課題とその解決策を一緒に考え、都市部を含む全国において木材利用の促進と国産材自給率の向上を加速化する足掛かりとするものです。

Day 1 9月3日(土)

[主な開催内容]

基調発表「木のまちから生まれる文化：生命(いのち)の尊厳と持続可能な地域連携」 成蹊大学名誉教授・廣野良吉

海外からの報告「植林・土壌保全・自然環境管理を通じた海外と日本とのつながり」

※「海外自治体首長による発表」(予定) フィリピン共和国・自治体首長(海外自治体もオイスカを通じて企業との協働で植林活動を実施)

課題別セッション-1「山林・森林の多面的機能：人、技術、経済、文化を通じた上流と下流の相互依存」

「森は愛する人をまもり、愛する人にまもられる」

1. 上流機能の産業化：植林、森林保全、アグロフォレトリー、保水、土壌保全等
2. 下流産業の育成：再生可能なエネルギー生産、環境に優しい第一次産業、第二次、第三次産業の開発戦略
3. 上流と下流産業の連携と外部に開かれた政策による街の発展と住民福祉の向上

課題別セッション-2「市町村における循環型森林整備と地域(山村)の活性化への取り組み」

1. 木材利用を中心とする林業の振興
2. 山林資源を活用した災害復旧
3. 木材利用に関する政策の転換を

Day 2 9月4日(日)

現地視察 企業の森づくり

赤沢宿(国選定重要伝統的建造物群保存地区)



左:企業の森づくり、右:赤沢宿

お問い合わせ先

早川町役場 総務課

〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住758 Tel.0556-45-2513 Fax.0556-20-5000

実行委員会事務局(公益財団法人オイスカ 啓発普及部)

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5 Tel.03-3322-5161 Fax.03-3324-7111

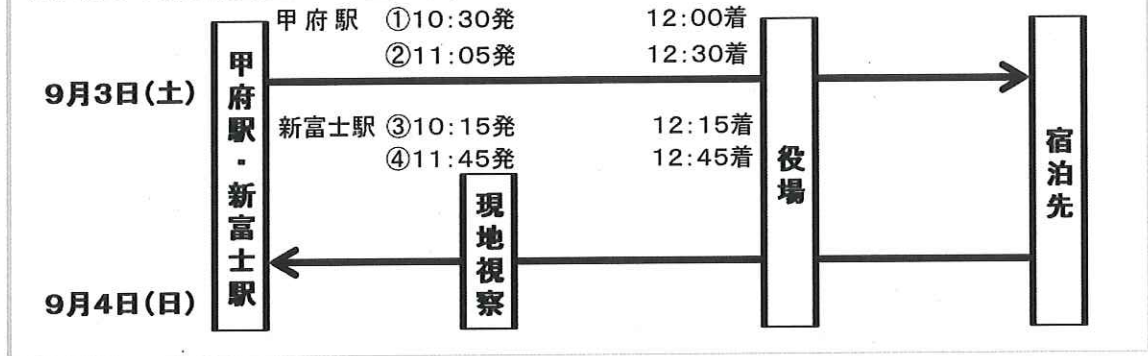


「全国木のまちサミット」

山梨県早川町

参加ご希望の方は各項目に記入例を参考に下記申込書へご記入の上、ファクシミリにてお申込みください。※懇親会は、立食形式により御一人様3,000円会費で行います。※宿泊を希望する方は、当方での近隣宿泊施設を手配致します。宿泊費および懇親会費は、富士急トラベル(株)の口座へ振込みをお願いします。

※当日の無料送迎バス運行予定



開催場所

山梨県 早川町役場 / 町民ホール

参加費

●サミット:無料 ●宿泊・懇親会:9,000円

●当日(3日)の昼食をご希望の方:1,000円

※定員:サミット、懇親会とも100名(定員になり次第、締切とさせていただきます。)

※日帰り希望の方はご相談ください。

参加申込書

全国木のまちサミットへの参加を申し込みます。

団体名						
住所	〒					
TEL				FAX		
職名	氏名	宿泊・懇親会 ¥9,000	現地視察	バス利用 新富士/甲府	3日昼食 ¥1,000	備考
記入例	早川 太郎	○	×	③	①	○

※申し込み等の個人情報については、本サミットに関する目的以外での利用は致しません。

送信先FAX番号

FAX:055-222-5010

☎ 055-228-1000

営業時間 9:00~18:00

参加申込窓口

富士急トラベル株式会社 / 担当: 志村 〒400-0031山梨県甲府市丸の内2-35-4
振込み先: 山梨中央銀行 甲府駅前支店 (普)No.1601 口座名: 富士急トラベル(株)